

公民館は昭和57年の開館以来今年で35年になり、11月には35周年記念行事も計画されています。私は公民館から徒歩5分程の所に住んで、約35年になり、7月に開催した地域の祭りも第36回目となりました。市内には250年を超える祭りもありますが、私の地域の祭りなどを書いてみたいと思います。

開催時期は7月の20日頃で、梅雨明け時期と重なるため、天候が最大のリスクです。安全のため、雷注意報が出たら子供達のパレードは中止、公園のトイレ



が詰まった等、祭典委員会は判断や予期せぬ出来事の対応に追われます。5月連休明けより打合せと準備を開始しますが、時には熱い議論も行います。今年実際にあったエピソード

です。浴衣姿の女の子が本部テナントに来て、模擬店の皆さんにお手紙を書いたので届けたいと言います。話を聞くと、皆さんが頑張っている姿に感動したので、感謝の気持ちを伝えたい。そしていつか自分も模擬店に参加して、頑張ってみたくと話してくれました。後で小学校三年生と分かりましたが、このような

子が居るからまた来年も、そして女の子が中学生になって模擬店の手伝いが出来るまで、自分も頑張らねばと思うのです。

公民館も「生涯学習」や「文化活動」の拠点として、多様化する市民ニーズを先取りしながら、次の世代に繋いでいく点では祭りと相通じるものがあると感じます。

公民館運営審議会委員
横山 四郎

公民館運営審議会 活動報告

7月と8月の公民館運営審議会内容は、次のとおりです。

◆7月14日(金)

都公連担当委員より9月2日の委員部会研修及び来年、2月3日に開催される都公連研究大会について報告がありました。また、公民館開館35周年記念事業の内容等について説明がありました。

事務局からは、終了した事業、今後始まる事業について説明がありました。

最後は前期答申にある、市民大学の活用について討議しました。

◆8月17日(木)

事務局より委員部会研修会

についての報告と公民館研究大会に向けて開催されている企画会議の進捗状況について説明がありました。

また、終了した事業、これから始まる事業について説明がありました。

最後は前期答申にある、市民大学の活用について討議しました。

東京都公民館連絡協議会委員部会第1回研修会

平成29年9月2日(土) 東京都公民館連絡協議会委員部会主催による研修会が昭島市市民交流センターで開催されました。

公民館は学びや活動の場として、また、地域課題に取り組みの拠点として、コミュニティづくりの重要な役割を担ってまいりました。しかし、時代の変遷とともに

に、その役割や今後のあり方が問われています。そうした中で、今回は、「公民館の役割とは」をテーマに永田浩三さん(武蔵大学教授)による講演会を開催しました。

元NHKプロデューサーとして「クローズアップ現代」等に携わり、放送業界での切り口はとて好評でした。

当日は、東京都公民館連

絡協議会に加盟する11市の公民館から市民・公民館運営審議会委員・職員等、約70名が参加しました。

公民館開館35周年記念事業の概要決まる



公民館開館35周年記念事業の概要決まる

公民館は今年開館35周年を迎えます。そこで、公利連は公民館と協力して、この35周年を記念する事業を有意義なものにしたいと、公民館、公民館運営審議会、そして公利連の三者で事業の企画を計画いたしました。

開催日時11月25日(土) 午前中と午後一時半から四時まで(であい・学び・そしてつなぐ)

①記念式典
②記念講演(公民館のこれまでとこれから) 講師 佐藤一子さん(東京大学名誉教授)

③アトラクション
④パネルディスカッション(公民館のこれまでとこれから)

コーディネーター・大申隆吉さん(公民館運営審議会会長)

⑤公民館の歩みと団体紹介パネル展

⑥記念誌の発行 等々です。

公利連へのご参加を!

なお、まだ公民館利用者連絡会に参加されていない団体やサークルの参加方を呼び掛けています。参加いただければ幸いです。

(代表・山崎)

市民大学フォーラム 公開講座

「昭島の歴史をたぐぬ」

身近な地域の歴史を知ること、昭島への親しみや愛着を持つ事ができます。この機会に郷土の歴史に関心を深めてみませんか。

日時 12月9日、平成30年1月13日、2月10日、3月10日(いずれも土曜日/全4回)

※日程が変更になる場合があります。

場所 公民館3階学習会議室

対象 市内在住・在勤・在学の方

講師 和田哲さん(昭島市文化財保護審議会会長)ほか

定員 50人(申込順)
参加費 無料
企画運営市民大学フォーラム
申込 11月16日(木)から公民館へ